

様式1		令和7年度 小金井市立小金井第二小学校 自己評価表				
学校教育目標		人権尊重の精神を基盤として、徳・知・体の調和がとれ、心身共に健康で、主体的に学ぶことができる児童の育成を図るとともに、国際社会に生きる資質・能力を育てる。 ○心豊かな子ども ◎自ら考え行動する子ども ○健康な子ども				
目指す学校像(ビジョン)						
【目指す学校像】		○子どもが「今日も登校してよかった」と実感する学校 ○チーム力を生かし主体的に課題を解決していく学校 ○地域・児童が、母校に誇りをもてる学校				
【目指す児童・生徒像】		さ:さわやかにあいさつ く:クラスの友達と仲良く(苦しい時こそ笑顔で) ら:楽な仕事は友達に大変な仕事は自分から(来年、将来の自分をイメージして)				
【目指す教師像】		○子どもへの愛情に溢れ職務を全うする教師 ○絶えず自己研鑽に励む教師 ○明るく元気で前向きな教師				
前年度までの学校経営上の成果と課題						
【成果】令和6年度に、校内研究において国語「読むこと」について取り組んだことで、児童の意識はもちろん、教員の苦手意識も薄れ、チャレンジする姿が多く見られるようになった。 【課題】若手教員が自信をもていない。子育て世代が多く、十分な校内OJTができていない。また、児童に関しては、登校渋りや長期にわたる不登校が多く、改善に至っていない。						
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)
授業 変 革 の 推 進	主体的・対話的で深い学 びの実現を目指した授業 改革を行い、「生きる力」の 育成を図る。	全教員が、主体的・対話的で深い学び の実現を目指した授業改革に取り組み、互 いに学び合う。	全教員が個の学びに重点を充てた公 開授業を年間2回以上実施する。	4 全教員が公開授業を年間1回以上実施	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 実施率90%以上	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 実施率80%以上	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 実施率80%以下	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
	ICTの活用について全授業の20%以上 実施を目指す。ICTを活用することで個に 応じた学びの時間を設定していく。	ICT機器やデジタルコンテンツ活用の 教員研修や情報共有の機会を毎月設 定する。	4 教職員の取組評価が90%以上	4 児童の自己評価で、満足度90%以上		
			3 教職員の取組評価が80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満		
			2 教職員の取組評価が70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満		
			1 教職員の取組評価が70%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満		
子 ど も の 権 利 の 尊	偏見や差別の解消に向け た障害理解教育を推進し、 共生社会を担う児童を育成 する。	特別支援学級・教室の設置校・拠点校と して偏見や差別の解消に向けた理解教 育を全学年で実施する。	1年:特別支援学級・教室の理解授業 2・5年:言語聴覚障害学級理解授業 3・6年:特別支援教室理解授業 4年:特別支援学級理解授業 3・5・6年:特別支援学校理解授業	4 全学年全学級で実施	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
			3 実施率90%以上	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満		
			2 実施率70%以上	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満		
			1 実施率70%以下	1 児童の自己評価で、満足度70%未満		
	自己理解と他者理解を深 め、好ましい人間関係を形 成する。	不登校対応や、いじめの未然防止・早期 対応のために、児童、保護者が相談しや すい体制づくりを進める。即時対応できる 場所も確保する。	毎月の校内委員会や毎週的生活指導 夕会において、対象となる児童の情報 を共有していく。相談体制を整え、ふれ あい月間を中心に、繰り返し児童に周 知していく。	4 教職員の取組評価が90%以上	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 教職員の取組評価が80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 教職員の取組評価が70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 教職員の取組評価が70%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
地 域 と の 協 働 の 推	地域の教育力を活かした 体験活動や、情操教育等 を展開する。また、学校の 情報を積極的に発信し、コ ミュニティ・スクールとしての 地域連携を推進する。	地域・保護者の専門性を生かした授業を 実施し、児童の体験を充実させる。	全学年で、地域の外部講師を招いた 授業を年間1回以上実施する。	4 全学年で実施	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 実施率80%以上	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 実施率70%以上	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 実施率70%以下	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
	まなびポケットやホームペ ージを活用した タイムリーな情報発信を充 実させる。	まなびポケットやホームページを活用した タイムリーな情報発信を充実させる。	・定期的な情報は月初めに発信する。 ・週3回以上、可能な限り毎日ブログを 更新する。 ・ICTを活用した授業実践、二小ハチド リプロジェクトについて公開する。	4 実施率100%	4 保護者・地域の評価で、満足度90%以上	
				3 実施率80%以上	3 保護者・地域の評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 実施率70%以上	2 保護者・地域の評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 実施率70%以下	1 保護者・地域の評価で、満足度70%未満	
特 色 あ る 学 校 づ く り	心身ともに健やかな体を育 成する。	児童一人一人の運動能力の向上を目指 す。	・体育における二小スタンダードを全学 級で実践する。 ・学習カードを活用することで、目当て の設定や振り返りを充実させる。	4 教職員の取組評価が90%以上	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 教職員の取組評価が80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 教職員の取組評価が70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 教職員の取組評価が70%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
		全校で運動に親しむ機会を設定し、運動 量を確保する。	・なわとび、持久走週間を設定し、休み 時間の運動を促す。 ・二小サーキットを積極的に活用し、児 童に多様な運動を経験させる。	4 教職員の取組評価が90%以上	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 教職員の取組評価が80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 教職員の取組評価が70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 教職員の取組評価が70%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
	読書活動を推進し、豊かな 心を育む。	読書に親しもうとする環境整備や読書時 間の設定を行う。また、周知方法を工夫 する。	・学期1回の読書週間を設定する。 ・定期的に学校図書館を整理する。 ・PTAサークル(さくらんぼの会)による 読み聞かせを設定する。	4 教職員の取組評価が90%以上	4 保護者・地域の評価で、満足度90%以上	
				3 教職員の取組評価が80%以上90%未満	3 保護者・地域の評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 教職員の取組評価が70%以上80%未満	2 保護者・地域の評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 教職員の取組評価が70%未満	1 保護者・地域の評価で、満足度70%未満	
	芝生を生かした取組を充 実させる。	芝生の維持管理に、全職員、児童が主 体的に関わる機会を設定し、環境教育の 推進に生かす。	・芝生維持に係る児童の活動を二小ハ チドリプロジェクトに位置付ける。 ・芝生委員会を中心に、地域ボランティ アと共に全職員で整備を行う。	4 教職員の取組評価が90%以上	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 教職員の取組評価が80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 教職員の取組評価が70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 教職員の取組評価が70%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	